



長井ロータリークラブ会長	大山 友規憲	第2800地区ガバナー	大久保 章 宏
幹事	土屋 茂 樹	第6ブロックガバナー補佐	味田 琢 哉
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル TEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	URL	http://www.nagai-rc.jp
E-mail	info@nagai-rc.jp	会報委員	塚田弘一 寒河江良一 横澤寿彦

【11月・特別月間】ロータリー財団月間

例会報告 No.15 (通算 第2805回) 2019年(令和元年)11月26日(火)号

■ロータリーソング :

奉仕の理想



■会長の時間(挨拶・報告): 大道寺信副会長



本日の例会は、会長が風邪のため欠席ですので代わって挨拶します。何を話すれば良いのかなかなか思いつきませんでした。特にロータリーに関する話はずぐに出てこないところが、まだまだロータリアンにはなっていないことではないかと反省もしたところでもあります。そんな状況ですが、最近感じていることを話させて頂きます。私は、この4月から地元西五十川区区長を務めています。区は行政区ではなくて自治会ですが、区として山という財産を保有していることから組織をしているというものです。財産の山は大変なことになっていますが、それについて今日は話をしませんが、区長として参加した行事で感じたことを話してみたいと思います。

一つは、皆さんもご存じだと思いますが、関東地区に在住する致芳地区出身者で組織する「関東致芳会」が、結成以来約40年が経ち解散することになり、今月の9日開催の総会で決定しました。その総会に出席しましたが、「ふるさと長井会」が結成されたことに伴い、発展的解散としています。実態は会員の高齢化に伴い、組織運営が厳しくなったことからの判断であると言われています。結成に尽力された方々は、集団就職等で首都圏に出られた方々などで正に故郷に愛着を強く持っておられた方々であったと思いますが、若い人の入会がほとんどない時代となってきたということだと思いますし、その要因としては、交通網や通信網の急速発展などから、故郷が近くなったから大きいのではないかと思います。一方では、高齢化の波は首都圏にも広がっていることを強く感じました。もう一つは、23日に最上地区伝統芸能フェスティバルが行われ、私の地区五十川獅子踊りが招待され、参加してきました。五十川獅子踊りは後継者不足により、平成21年から休会していましたが、若い人を中心に今年復活し、6月に披露公演をしました。

私も旧保存会の長を区長が担うことになったことから、獅子踊りにも参加しています。伝統芸能はどこも後継者不足となり、なくなっていく傾向に有ることから伝統文化の継承は大きな課題となっています。今回の獅子踊りを復活はうれしいことですが、伝統芸能のみならず、高齢化と人口減少は地域コミュニティの維持に大きな影響を与えることを痛感しました。現在の定年はほとんどが実質65歳となり、70歳まで働く方も多くなってきました。いわば人口減少は企業にとっても大きな課題であると同時に、コミュニティの担い手の高齢化と不足ということもでてきており、今後の地域社会の在り方も考えていく時代であると思います。ロータリーの在り方も変わっていくのかもしれない。

■幹事報告： 土屋茂樹幹事

1. 南陽東 RC よりより創立 30 周年記念誌が届いています。回覧します。
2. 早退届一齋藤慎治会員 業務都合による



■委員会報告：



○R財団・米山奨学会委員会； 横澤寿彦委員長

1. ハイライトよねやま紹介
 - ・学友が2800地区大会にて記念講演等で活躍
2. R財団の特別月間関連
 - ・23日(土) 財団セミナー3名出席
(伊藤克也会長E、横澤寿彦財団委員長、手塚典雄同委員)
 - ・月間中は、R財団に関する卓和等を行うことが求められています。
本日は、手塚典雄委員より卓話ですので認識を深め協力をお願いします。



○親睦委員会； 小笠原信吾委員長

- ・夜の例会— 12月17日(火) タス3F 午後6時
- ・クリスマスパーティのご案内
会費 5,000 円・ご家族 8,000 円
オークション—お一人 3,000 円相当の品物2個準備
ゲスト— 伊藤和哉氏 (シンガーソングライター
福島県 全国各地でライブ開催)



■ニコニコBOX； 那須 修委員長

- 横澤寿彦会員 手塚委員 卓話ご苦労様です。
- 土屋茂樹会員 退院しました。よろしくお願ひします。
- 小笠原信吾会員 土屋幹事の復帰を祝しまして。



■出席報告； 遠藤伴明委員長

- ・本日の会員数25名、全出席数20名で出席率は80.00%です。
- ・先々週4クラブ合同例会11月13日(水)の出席率は82.61%に修正確定します。

(会員卓話)



ロータリー財団について

R財団・米山奨学会委員会
手塚典雄委員

- ロータリー財団セミナー (11月23日 出席者—右写真)
大久保 G 挨拶—R財団は寄付によって支えられ、世界でいろんな
良いことを行っており、ロータリーのバックボーン
である。寄付の地区目標をよろしくお願ひします。



○卓話内容

① ロータリー財団チャートについて

●ロータリー財団チャート

●寄付のしかたと認証

A3 恒久基金寄付
 ・将来のロータリーを支える基金とする
 ・寄付の運用益を使用
A4 恒久基金の収益一部

A2 使途指定寄付
 ・ポリオプラス、R 平和センター、冠名指定、重点6分野などを指定して寄付

A1 年次基金寄付
 R 財団の補助金とプログラムの資金源として3年後に運営費5%を除き全額「世界で良いことをする」資金に
2800 地区目標
 会員一人 \$150
 ●普通寄付 \$50 をクラブ年会費の中から寄付する
 ●特別寄付 寄付額は会員の意思で決め寄付する
 5%を管理・運営・推進費に充てる

●個人の認証
 ・財団の友⇒年次基金に毎年 \$100 以上寄付する個人を認証
 ・ポール・ハリス・フェロー (PHF) ⇒年次基金やポリオに累積 \$ 1000 以上寄付
 ・マルチプル PHF ⇒ PHF に \$1000 寄付毎に授与される
 ・ポール・ハリス・ソサエティ⇒毎年 \$1000 以上寄付する個人を認証
 ・ベネファクター⇒恒久基金に \$1000 以上の寄付を行った人を指します。
 ・メジャードナー (MD) ⇒寄付種類に関係なく \$10000 を超えた個人又は夫婦
 ・アーチ・クラフト・ソサエティ (AKS) ⇒寄付分類関係なく \$250000 寄付
 ・遺贈友の会⇒資産計画において合計 \$10000 以上誓約した個人又は夫婦
 ●クラブへの認証
 ・Every Rotarian クラブ⇒年度に正会員全員が \$100 以上 100% 寄付したクラブ
 ・100% 「財団の友」会員クラブ⇒全会員が年次基金に \$100 以上寄付したクラブ
 ・100% PHF クラブ⇒全正会員が PHF になった時申請する
 ・年次基金上位 3 クラブ⇒平均 \$50 以上の年次寄付地区内上位 3 クラブ

●シェア・システム
 ①世界中のロータリアンと資産をシェア (共有)
 ②意思決定の一部を地区にシェア (分与)
 ③財団を通じて世界中のロータリーをシェア (共有)
A1 に A4 を加えロータリアンが B, C, D の方法でシェアし運用するシステムです。

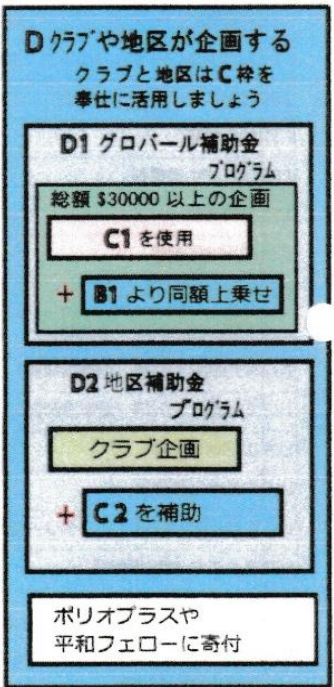
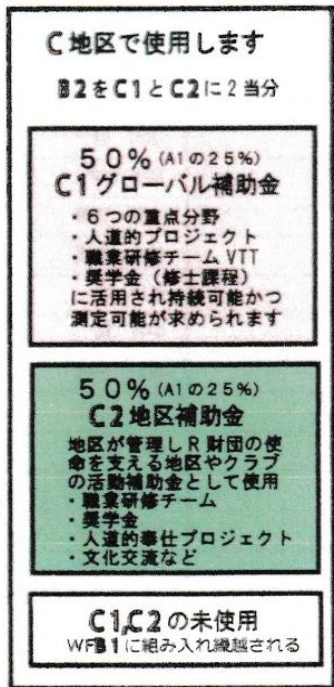
●年次寄付の運用
 私達の年次寄付 **A1** は 6 月末額を、3 年後に RI が国際的に使う国際財団活動資金 **B1** と地区のアイデアで使う、地区財団活動資金 **B2** に分けられ、**B2** の 50% を地区補助金 **C2** として主にクラブ企画への補助金として使用し、残り 50% をグローバル補助金 **C1** として、重点分野に合わせクラブや地区が使うことができます。さらに、ポリオプラスやロータリー平和センターに寄付ができます。

●平和フェロウシップ
 平和関連分野の専門家を目指す学生用教育プログラム

●ポリオプラス
 1988 年に開始し 20 億人以上の子供に予防摂取 \$12 億投

●グローバル
 6つの重点分野
 ・平和と紛争予防紛争解決
 ・疾病予防と治療
 ・水と衛生
 ・母子の健康
 ・基本的教育と識字率向上
 ・経済と地域社会の発展
 持続的で効果が測定可能

●補助金の運用と使い方



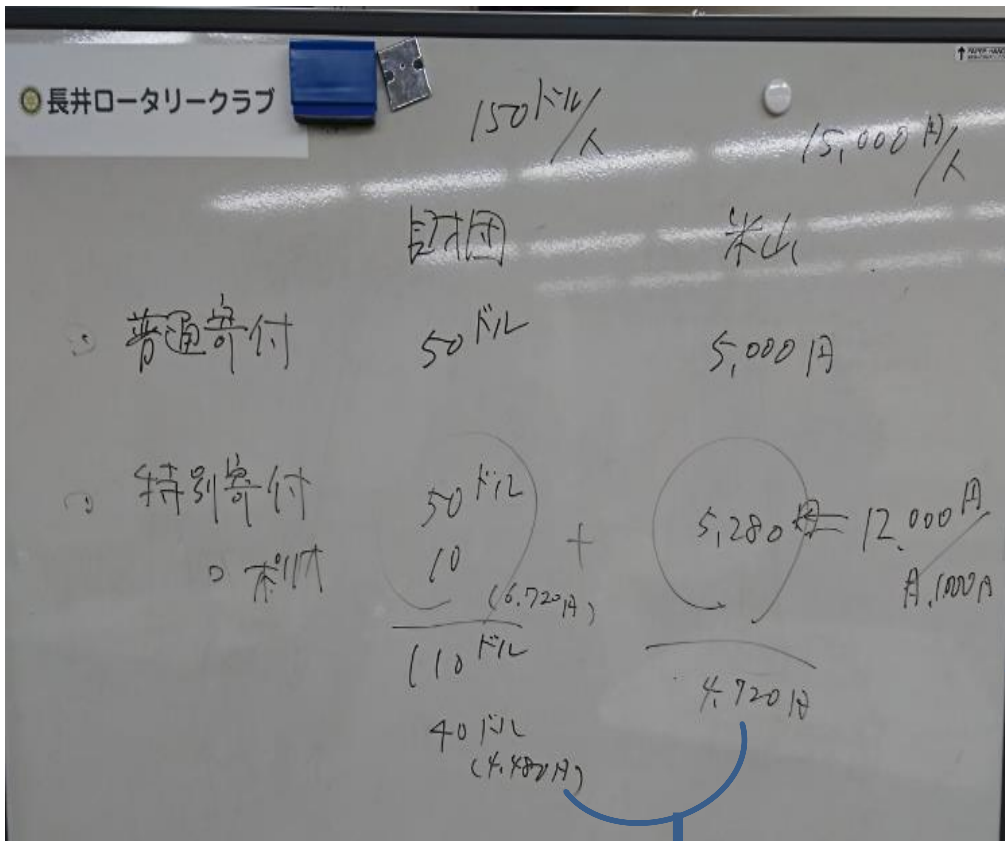
●特点

●税の優遇措置
 ・法人⇒「特定公益増進法人」の寄付として税法上の優遇措置
 ・個人⇒所得控除 or 税額控除を選択
 ・税額控除は領収書と税額控除に係る証明書が必要となりま
 ●認証ポイント⇒恒久基金以外の寄付に \$1 が 1 ポイントで積算し他の人を PHF, MPHF に指定でき、亡った時点又はポイントを全消化した時点で指定された方の名義に変更します。それまでは本人名義で記録されています。
 ●ロータリーカード (個人カード & ビジネスカード)
 ・ロータリーカード利用、購入金額の 0.3% と GOLD CARD 年会費の 3000 円がポリオに寄付されます
 ・利用額 1000 円で 1 ポイント、1000 ポイント (10 万購入) で 5000 円として R 財団個人年次寄付に加算されます

D2800R 新聞資料 yaichiro.nizeki 2017.10.24

・長井 RC の個人認証ー PHF・MPHF は 26 名中 16 名。(活動計画書参照)

② 寄付状況について



地区目標
クラブ目標
・財団 150ドル
(ポリオ 10ドル)
・米山 15,000円

前年度
財団 100ドル
ポリオ 20ドル
米山 9160円



今年度 ・財団 50ドル (約 5,000円) ・米山約 5,000円
のBOXをお願いします。

(例)	クラブ	15万円	
	補助金	30万円	
	計	45万円	の事業ができる

③ 地区補助金について

○主な審査基準：

- ・補助金は、1プロジェクト 5万以上～30万円以下。
- ・総プロジェクトに対するクラブの拠出金は3分の1以上。
- ・プロジェクト承認の優先順位
 - ① 新規プロジェクト (会員数の少ないクラブの活性化につながる奉仕事業を優先)
 - ② 継続事業であっても、新たな提案が含まれているもの。
 - ③ 継続プロジェクト
- ・年次寄付 (基金) がゼロのクラブは、審査対象外。

○今年度承認件数： 38件

○申請提出期限： 伊藤年度申請の場合 2020年3月末日
(60周年を控え検討余地が大である)

○クラブ事例： 弁論大会横断爆 街路灯 記念植樹 (陸上競技場) 等々

手塚典雄委員、卓話ご苦労様でした。

4クラブ合同例会

(日時) 11月13日午後6時 (主催) 長井中央RC

(講演) 長井市の2020東京オリパラの取り組みについて
長井市総務課参事 竹田俊弘様

